

科目名		担当者氏名	授業形式	単位	開講時期
臨床栄養学特論Ⅱ		大松 孝樹	講義	2	後期
必修・選択	修了要件	必修			
	資格要件				
学習目標	<p>栄養素の過剰摂取や欠乏、栄養素の代謝異常および食生活の偏重、さらにストレスや運動不足などが、生活習慣病の誘因となっている。これに対応し適切な食事療法を行うことにより、疾病の治療および合併症を予防することができる。この教科では各疾患の発生機序、病態生理、臨床症状、臨床検査などをふまえ、適切な栄養指導ができるように、各疾患の食事療法について栄養学視点から学ぶ。</p>				
授 業 計 画					
回	項 目	授 業 内 容			
1	代謝性疾患（8）	リポ蛋白代謝と脂質異常症の分類			
2	代謝性疾患（9）	脂質代謝異常と食事療法			
3	循環器疾患（1）	高血圧症の成因と分類			
4	循環器疾患（2）	高血圧症と食事療法			
5	循環器疾患（3）	心臓疾患と食事療法			
6	循環器疾患（4）	動脈硬化症と食事療法			
7	循環器疾患（5）	脳血管疾患と食事療法			
8	腎臓疾患（1）	糸球体腎炎と食事療法			
9	腎臓疾患（2）	ネフローゼ症候群と食事療法			
10	腎臓疾患（3）	腎不全と食事療法および透析療法			
11	血液疾患（1）	貧血の診断と分類			
12	血液疾患（2）	貧血と食事療法			
13	骨代謝疾患	骨粗鬆症・骨軟化症と食事療法			
14	免疫とアレルギー疾患	免疫反応とアレルギーの分類			
15	小児疾患	栄養失調症、消化不良症、先天性代謝異常			
参 考 書	<p>奈良信雄著 「人体の構造・機能と疾病の成り立ち」 医歯薬出版 2003 林正健二編 「人体の構造と機能—解剖生理学」 メディカ出版 2005</p>				
学習上の注意（自己学習、学外学習など）	臨床栄養学の関連科目である解剖生理学・栄養学特論で習ったことを理解しておくこと。				
評価の方法と時期	毎授業時間の小テスト（30％）と定期試験（70％）により評価する。				